

## ガバニングボード（第126回） 議事要旨

1. 日 時 令和6年10月31日（木） 9：59 ～ 11：14
2. 場 所 中央合同庁舎8号館 6階 623会議室
3. 出席者  
総合科学技術・イノベーション会議（CSTI）議員  
篠原議員（座長）、上山議員、伊藤議員、梶原議員、佐藤議員、波多野議員、光石議員  
内閣府  
濱野事務局長、柿田統括官、塩崎事務局長補、徳増審議官、藤吉審議官、  
岩淵参事官、梅原参事官  
（議題（1）のみ）伊藤PD、岡部SPD、松田参事官  
（議題（2）のみ）佐藤政策企画調査官  
（議題（3）のみ）谷貝企画官  
経済産業省  
大野経済産業大臣科学技術顧問  
文部科学省  
坂本サイバーセキュリティ・政策立案総括審議官  
外務省  
松本外務大臣科学技術顧問
4. 議 題  
（1）SIP第3期課題概要等報告（意見交換）  
（2）社会実装に向けた戦略及び研究開発計画の変更について（承認・報告）  
（3）BRIDGE（標準活用加速化支援事業）の評価項目・基準の策定について（承認）
5. 配布資料  
資料1 課題概要等報告（SIP サーキュラーエコノミー）  
資料2 社会実装に向けた戦略及び研究開発計画の変更について（SIP スマモビ）  
資料3 社会実装に向けた戦略及び研究開発計画の変更について  
（SIP サーキュラーエコノミー）  
資料4 社会実装に向けた戦略及び研究開発計画の変更について（SIP 先端的量子）  
資料5 社会実装に向けた戦略及び研究開発計画の変更について（SIP マテリアル）  
資料6 標準活用加速化支援事業における評価項目・評価基準（案）  
資料7 審査・評価委員会運営要領（20241031 改正案）

## 6. 非公開理由

非公開情報を用いた議論を含むため、非公開とした。

## 7. 議 事

- (1) S I P第3期「サーキュラーエコノミーシステムの構築」に関して課題のビジョンやその設定背景、実施内容及び成果の社会実装等について意見交換を実施した。
- (2) 社会実装に向けた戦略及び研究開発計画について、S I P第3期課題のうち、「先進的量子技術基盤の社会課題への応用促進」の変更に関して審議し、承認された。「スマートモビリティプラットフォームの構築」、「サーキュラーエコノミーシステムの構築」及び「マテリアル事業化イノベーション・育成エコシステムの構築」に関して、軽微な変更のため、座長の了承を得た旨の報告をした。
- (3) B R I D G E（標準活用加速化支援事業）の評価項目・基準（案）について審議し、承認された。また、事務局から、B R I D G E審査・評価委員会運営要領の改正について報告があった。

以上